

2026年度(前期)

理学療法学科 2 学年
教育計画

関東リハビリテーション専門学校

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 神経内科学

担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 病気がみえる 脳・神経
(出版社) : (メディックメディア)

参考書 : 標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第5版
(出版社) : (医学書院)

教育目標 【到達目標】 : GIO:解剖・生理・病理学の知識を基に神経症候, 神経疾患の基本的な事項を修得する.

SB0: 神経疾患の特徴を理解し, 説明することができる.

【講義概要】

リハビリテーションを進める上で, 臨床上重要な神経症候および神経・筋疾患を中心に講義を進めていく.

回数	項 目	内 容
1	神経症候①	感覚障害 運動ニューロン障害 球麻痺 仮性球麻痺 嚥下障害 構音障害 運動失調
2	神経症候②	意識障害 髄膜刺激症状 不随意運動
3	神経症候③	正常圧水頭症 頭蓋内圧亢進 脳浮腫 脳ヘルニア
4	脳血管障害	脳梗塞 脳内出血 クモ膜下出血 脳動脈瘤 脳動静脈奇型 もやもや病
5	高次脳機能障害	失語 失行 失認
6	末梢神経障害 (ニューロパチー)	Guillain-Barré症候群 シャルコー・マリー・トゥース病 その他
7	脱髄性疾患	多発性硬化症 その他
8	中間試験	中間試験 前半講義のまとめ
9	神経変疾患	筋萎縮性側索硬化症 Parkinson病 その他
10	筋疾患	筋ジストロフィー 神経筋接合部疾患
11	認知症	Alzheimer型認知症 Lewy小体型認知症 その他
12	脳腫瘍	神経膠腫 髄膜腫 その他
13	頭部外傷	急性頭蓋内血腫 慢性硬膜下血腫 その他
14	小児神経疾患	脳性麻痺 ダウン症候群 その他
15	まとめ	全講義のまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により, 80点以上をA (優), 70点以上80点未満をB (良), 60点以上70点未満をC (可) とし, 60点未満は不合格とする. なお, 総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが, 講義内容に応じてグループワークを実施し自ら学ぶ取り組みも進めていく. 中間試験を実施し知識の確認を行う. 担当教員は, 病院や施設, 訪問リハビリテーションにおける急性期から慢性期までの理学療法経験を授業に生かしていきたい.

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 整形外科学

担当講師 : 大矢 暢久

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 整形外科疾患ビジュアルブック第2版 (Gakken) 参考書 :
(出版社) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : (GIO) 学生が理学療法の評価・治療を円滑に実施できるようになるために、基本的な整形外科疾患についての知識を習得する。(SB0s) ①各疾患の誘因・原因、好発年齢・部位、分類、検査法、治療法を理解する。

②各疾患特有の整形外科的テストを理解し、実践できる。

【講義概要】

整形外科疾患、運動器（骨・関節・筋）疾患領域は理学療法士が臨床上、担当する機会の最も多い領域であろう。本講義の若年者、競技者のみならず、高齢者の骨関節疾患、脊髄損傷と治療・手術・リハビリテーション介入についても説明する。

回数	項 目	内 容
1	骨折1	骨折の総論（分類・治癒・治療）、小児の骨折、高齢者の骨折、骨折の合併症
2	骨折2	上肢、体幹の骨折
3	骨折3	下肢の骨折
4	肩関節疾患	肩関節周囲炎、腱板損傷
5	腱（靱帯）の損傷	手の腱損傷、半月板損傷、膝十字靱帯損傷、足関節靱帯損傷、アキレス腱断裂、
6	腰痛症	腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離症、など
7	変形性関節症	変形性関節症、変形性股関節症、変形性膝関節症
8	脱臼	脱臼しやすい関節、肩・肘・股関節脱臼
9	末梢神経損傷	分類、手根管症候群、絞扼性神経障害
10	脊髄・脊椎疾患および損傷1	誘因・原因、検査・診断・分類、治療
11	脊髄・脊椎疾患および損傷2	残存レベルと可能な動作
12	関節リウマチ	診断基準、病理組織的所見、症状、検査所見、評価方法、治療
13	小児の整形外科疾患、切断	Perthes 病、二分脊椎、骨形成不全症、切断
14	その他	骨粗鬆症、骨壊死症、熱傷、CRPS
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】

講義方式を基本とするが、治療実技については治療室、機能訓練室で実施する。急性期病院、整形外科クリニックで理学療法士として勤務した経験をお伝えする中で、受講生に運動器リハビリテーションや障がい者支援の重要性を知っていただきたい。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 内科学

担当講師 : 渡邊 利明

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 標準理学療法・作業療法 専門基礎分野 内科学(医学書院) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO;理学療法を実施する際に必要な内科学の知識を理解する。

SB0;①内科学的な症候について説明できる。②内科疾患の特徴を列挙できる。③内科疾患の治療方法について列挙できる。

【講義概要】

内科学は主に身体の臓器（内臓）を対象とし、一般に手術によらない方法での診療とその研究を行う医学の一分野である。

本講義では各内科疾患の成因とメカニズム、治療方法について解説していく。

回数	項 目	内 容
1	内科的診断と治療の実際	授業オリエンテーション、診察法、臨床検査、内科的治療
2	症候学	内科疾患の症候について
3	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、循環器疾患の主要な症状、診断法
4	循環器疾患	循環器疾患各論
5	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、呼吸器疾患の症候とその病態生理、臨床所見
6	呼吸器疾患	呼吸器疾患各論
7	まとめ1（振り返り考查による省察）	「1－7についての振り返り」を行う
8	消化器・肝胆膵疾患	消化管・肝胆膵の、肝胆膵疾患各論
9	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、血液疾患の主要な症候、各論
10	代謝性疾患	代謝調節の仕組み、代謝性疾患各論
11	内分泌疾患	内分泌総論、内分泌とホルモンの解剖・生理、内分泌疾患各論
12	腎・泌尿器疾患	腎臓の解剖と生理、腎疾患の症候とその病態生理、腎・泌尿器疾患各論
13	アレルギー疾患、膠原病など	免疫系の動き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症
14	感染症	感染症総論、感染症各論
15	まとめ2（振り返り考查による省察）	「8－14についての振り返り」を行う

【成績評価方法】 「まとめ」の総合成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。
総合成績は「まとめ」ならびに毎回の講義のレポート等は採点対象となる。

【授業の方法・形式と教員紹介】

- ・指定した教科書を中心に、初日に講義内容と学習法について概要を説明する。
- ・B5版のノート、板書内容をノートに記載する3色のペンや鉛筆等の筆記用具を準備すること。
- ・担当する渡邊は米国留学中の経験を活かし、ルービック法や総括したアクティブラーニング手法を用いたヒトの倫理観を兼ねそなえた講義を展開する。講義中や学習中、将来の理学療法士として、「常に目の前に患者さんのがいるという状況」を考えつつ、学習によって正しい知識をもって職業意識を支えておくという意識の高さが必要である。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 臨床心理学

担当講師 : 中山 麻子

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 : リハベ-シツク 心理学・臨床心理学(医歯薬出版) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : ① 心理検査法、異常心理学、心理療法等、臨床心理学の基礎知識を習得する。

② 理学療法士として必要とされる、傾聴や共感の力、コミュニケーション能力を身につける。

【講義概要】 臨床心理学の基礎となる精神・心理の異常、アセスメント、心理療法について学ぶ。

また自己理解および他者理解を深める一環として、グループワークも積極的におこなう。

回数	項 目	内 容
1	臨床心理学概要	授業の概要説明、臨床心理学とは何か
2	防衛機制 1	防衛機制とは
3	防衛機制 2	共感、傾聴
4	防衛機制 3	転移と逆転移・障害受容の過程
5	心理アセスメント 1	心理アセスメントの目的、方法
6	心理アセスメント 2	データの分析方法・異常心理学
7	心理検査 1	人格検査
8	心理検査 2	知能検査・発達検査
9	心理検査 3	認知機能検査
10	介入技法 1	行動療法・認知行動療法等
11	介入技法 2	精神分析療法、内観療法等
12	介入技法 3	来談者中心療法等
13	介入技法 4	集団精神療法・森田療法等
14	復習	前期の復習・練習問題等
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上を A (優)、70点以上80点未満を B (良)、60点以上70点未満を C (可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式が基本である。

各種心理検査や心理療法を体験する時間を設け、結果の解釈や成立した背景、臨床上の留意点などを紹介する。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 薬理・栄養学

担当講師 : 渡邊 利明

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : リバリーシツ薬理学・臨床薬理学および生化学・栄養学 (医歯薬出版)

参考書 : クスリのことがわかる本 渡邊泰雄(地人書館)

教育目標 【到達目標】 :

主目的は、疾病の治療にかかわる「薬物の薬理学」および体内反応の基礎である「生化学」に関して理解する

【講義概要】

「生化学・栄養学」は人体の機能や形態を科学的に考えるための基礎知識、この知識および「生理学」をもとに「薬理学」を学ぶことによって、人体の働きを科学（化学）的に考察し、疾病や治療の理解を深めるための基礎とする。

回数	項 目	内 容
1	生化学入門	生化学とは：生体内で、何らかの機能性を発揮する化学物質の化学反応について理解する
2	3大栄養素（糖質）	糖質の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生合成と分解）、作用について理解する
3	3大栄養素（タンパク質・アミノ酸）	タンパク質・アミノ酸の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生合成と分解）について理解する
4	3大栄養素（脂質）	脂質（中性脂肪 リポたんぱくを含む）の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生合成と分解）、作用について理解する
5	ホルモン・ビタミン	ホルモン（水溶性 脂溶性 ステロイド アミン ペプチド）等の種類、栄養価（エネルギー化）、代謝（生合成と分解）、作用について理解する
6	治療における栄養法	上記栄養素を使用した治療法について理解する
7	まとめ1（振り返り考查による省察）	「生化学や栄養学についての振り返り」を行う
8	薬理学とは 薬物・医薬品とは	薬理学における薬物の分類、医薬品の分類とADMEについて理解する
9	薬理作用とは	体内における薬物（医薬品）の作用：受容体 チャネル 標的臓器 フィードバックについて、理解する
10	末梢神経疾患に関わる薬理学	神経変性疾患（パーキンソン病 アルツハイマー病）で使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
11	精神疾患に関わる薬理学	精神疾患（統合失調症 うつ病）に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
12	循環器系疾患に関わる薬理学	心疾患や血管疾患を基盤とした代表的な循環器系疾患に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
13	疼痛・炎症に関わる薬理学	「痛み」「炎症」に関連する成因を基盤とする疾患に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
14	代謝性疾患に関わる薬理学	糖質・タンパク質・脂質の代謝異常に関連する成因を基盤とする疾患（糖尿病 高尿酸血症 脂質異常症）に使用されている薬物に関して、原因や病状とともに作用機序を理解する
15	まとめ2（振り返り考查による省察）	「薬理学についての振り返り」を行う

【成績評価方法】 「まとめ」の総合成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。
総合成績は「まとめ」ならびに毎回の講義のレポート等は採点対象となる。

【授業の方法・形式と教員紹介】

- ・指定した教科書を中心に、初日に講義内容と学習法について概要を説明する。
- ・B5版のノート、板書内容をノートに記載する3色のペンや鉛筆等の筆記用具を準備すること。
- ・担当する渡邊は米国留学中の経験を活かし、ルービック法や総括したアクティブラーニング手法を用いたヒトの倫理観を兼ねそなえた講義を展開する。講義中や学習中、将来の理学療法士として、「常に目の前に患者さんのがいるという状況」を考えつつ、学習によって正しい知識をもって職業意識を支えておくという意識の高さが必要である。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学評価学Ⅱ〔運動器系〕

担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 理学療法評価学（金原出版）
（出版社） : 新・徒手筋力検査（協同医書出版社）参考書 :
（出版社） :

教育目標 【到達目標】 : GI0;理学療法における各評価の意義を理解し、各疾患に対し適切な評価項目を選択・

実施することができる。SB0;①各検査・測定に必要な解剖学・生理学・運動学的知識を有する。②信頼性・再現性の

ある検査・測定が実施できる。③検査測定 of 臨床的意義を説明できる。

【講義概要】

整形外科疾患の評価を行う上で必要な筋力検査と整形外科疾患特有の検査について、講義や演習を通して学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、検査に必要な解剖学・運動学の確認
2	筋力検査	検査に必要な解剖学・運動学の確認
3	筋力検査	筋力、筋力低下
4	筋力検査	筋力検査
5	MMT	総論
6	MMT	総論
7	MMT	肩関節
8	MMT	肩関節
9	MMT	肩甲骨
10	MMT	肘関節、前腕
11	MMT	股関節
12	MMT	股関節
13	MMT	膝関節
14	MMT	足関節
15	MMT	指
16	MMT	母指
17	MMT	頭部・頸部
18	MMT	体幹・顔面
19	MMT	実技練習
20	MMT	実技練習

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学評価学Ⅲ[神経系]

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 理学療法評価学 改訂6版 (金原出版)
(出版社) : フィジカルアセスメント完全攻略BOOK (慧文社)参考書 :
(出版社)

教育目標 【到達目標】 : (G10) 神経系の理学療法評価法の意義を理解し、評価技能を修得する。

(SB0s) 神経系の理学療法評価法の意義・目的を説明できる。神経系の各種検査・測定を正しく実施できる。

【講義概要】 理学療法における正しい評価・検査方法の理解と正確な実践は理学療法介入の前提として臨床上重要な位置づけである。本講義は神経学生理学的・解剖学的背景を踏まえ、検査の意義・目的を理解し、正しく理学療法評価を実践することを目標とする。

回数	項 目	内 容
1	評価学総論	この講義についての説明 理学療法における評価・検査の意義
2	障害概論 問診法	神経障害概論(中枢・末梢神経障害・神経系疾患) 問診の方法
3	感覚総論	神経総論 感覚とは 感覚の分類・感覚の生理解剖
4	感覚検査法①	感覚検査器具の説明・検査の手順・記録方法・表現方法
5	感覚総論	伝導路・感覚障害の特徴 表在感覚・深部感覚・複合感覚
6	感覚検査法②	表在覚(温痛覚・触圧覚) 検査の理論と方法
7	感覚検査法③	表在覚(温痛覚・触圧覚) 検査法復習
8	感覚各論	神経損傷・臨床での感覚障害の捉え方・異常感覚
9	感覚検査法④	深部感覚(運動覚・位置覚) 検査法・複合感覚(二点識別覚) 検査法
10	感覚検査法⑤	深部感覚検査法・複合感覚検査法復習
11	疼痛評価①	疼痛検査の理論と方法・その他の異常感覚について
12	疼痛評価②	痛みの鑑別・カウンセリング
13	実技の確認①	感覚検査法・疼痛評価法の手技の確認
14	実技の確認②	感覚検査法・疼痛評価法の手技の確認
15	反射検査法①	反射検査器具の説明・検査の手順・記録方法・深部腱反射
16	反射検査法②	病的反射検査
17	まとめと確認①	これまでの範囲の知識の確認
18	解説と振り返り①	解説と振り返り
19	実技の確認③	深部腱反射検査の手技の確認
20	実技の確認④	病的反射検査の手技の確認

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学 3 [中枢] 担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 病気がみえる⑦脳神経 第2版 (メディックメディア) 参考書 : 脳卒中の理学療法 (金原出版)
(出版社) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO:脳血管疾患の理学療法について理解する

SB0:①中枢神経系の構造と機能を説明できる ②脳血管疾患の症状と障害像を説明できる

③脳血管疾患の評価と治療について説明できる

【講義概要】

脳や脊髄といった中枢神経のしくみや働きを理解し、脳血管疾患（主に脳卒中）の病態・検査測定・動作の特徴・治療方法などを学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	脳血管障害とは	オリエンテーション、脳血管障害の理学療法とは
2	中枢神経系の構造と機能①	中枢神経系の構造と機能 総論
3	中枢神経系の構造と機能②	中枢神経系の構造と機能 (大脳皮質、大脳辺縁系、大脳基底核)
4	中枢神経系の構造と機能③	中枢神経系の構造と機能 (脳幹、脳神経)
5	中枢神経系の構造と機能④	中枢神経系の構造と機能 (運動・感覚神経)
6	中枢神経系の構造と機能⑤	中枢神経系の構造と機能 (脳血管)
7	中枢神経系の構造と機能⑥	脳の機能の復習
8	中枢神経系の構造と機能⑦	まとめと確認
9	脳血管障害の分類と特徴①	脳血管疾患の分類脳出血について
10	脳血管疾患の特徴①	運動麻痺について
11	脳血管疾患の特徴②	感覚麻痺について
12	片麻痺患者の特徴、評価①	意識レベル、総合評価、筋緊張
13	片麻痺患者の特徴、評価②	ブルンストロームステージ
14	片麻痺患者の特徴、評価③	上田の12段階、SIASについて
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技方式で行う。

担当教員は理学療法士として病院・介護施設・在宅の分野で多くの脳血管疾患のケースを担当している。

臨床で必要な脳血管疾患の知識、治療について講義を行う。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 2 科 目 名： 理学治療学5〔整形外科〕

担当講師： 竹内 大樹
池津 真大

単 位： 2 単位 教育時間： 60 時間

教科書： 運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学(医学書院) 参考書：
(出版社)： 神経と筋の解剖・評価コンパクトアトラス(文光堂) (出版社)：

教育目標 【到達目標】： 整形外科疾患 主に運動器障害に対する知識と技術の獲得を目標とする。

実技を通して、検査測定～臨床推論～リハビリテーションの流れを具体的に学習し、実践できるようになる。

実技を通して検査測定、臨床推論の技術や知識を再学習する。

【講義概要】

本講義では、疾患の病態を把握した上で、臨床現場にて実践できるよう、実技を多く取り入れる講義の構成とする。

回数	項 目	内 容
1	総論 2026/4/17竹内	運動器理学療法とは
2	総論 2026/4/17竹内	クリニカルリーズニング～運動器疾患患者の臨床推論方法～
3	総論 2026/4/24池津	運動器疾患の動作分析
4	総論 2026/4/24池津	運動器疾患の動作分析
5	各論 2026/5/1竹内	下肢骨折 ワークショップ（理論編）
6	各論 2026/5/1竹内	下肢骨折 ワークショップ（理論編）
7	各論 2026/5/8池津	手部・肘部骨折 ワークショップ（理論編）
8	各論 2026/5/8池津	手部・肘部骨折 ワークショップ（理論編）
9	各論 2026/5/15竹内	下肢骨折 ワークショップ（実技編）
10	各論 2026/5/15竹内	下肢骨折 ワークショップ（実技編）
11	各論 2026/5/22池津	手部・肘部骨折 ワークショップ（実技編）
12	各論 2026/5/22池津	手部・肘部骨折 ワークショップ（実技編）
13	各論 2026/6/5竹内	肩関節周囲炎 ワークショップ（理論編）
14	各論 2026/6/5竹内	肩関節周囲炎 ワークショップ（理論編）
15	各論 2026/6/12池津	上腕骨近位端骨折 ワークショップ（理論編）
16	各論 2026/6/12池津	上腕骨近位端骨折 ワークショップ（理論編）
17	各論 2026/6/19竹内	肩関節周囲炎 ワークショップ（実技編）
18	各論 2026/6/19竹内	肩関節周囲炎 ワークショップ（実技編）
19	各論 2026/6/26池津	上腕骨近位端骨折 ワークショップ（実技編）
20	各論 2026/6/26池津	上腕骨近位端骨折 ワークショップ（実技編）

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 2 科 目 名： 理学治療学6〔呼吸・循環・内部障害〕

担当講師名： 反町 拓

単 位： 2 単位 教育時間： 60 時間(通年)

教科書： 内部障害理学療法学 循環・代謝／呼吸
(出版社)： (中山書店)

参考書：
(出版社)：

教育目標 【到達目標】： (GIO) 理学療法領域における呼吸リハビリテーションならびに内部障害リハビリテーションの

意義と目的、理学療法治療の方法について理解する。(SB0s) 循環・呼吸器・内臓諸臓器の機能構造について説明ができる。

循環・呼吸器・内臓諸臓器疾患とリハビリテーション・リスク管理について説明できる。

【講義概要】 統計上近年の本邦の老年期の死因のほとんどは内部障害に起因するものであり、癌、循環器、呼吸器、腎

あるいは廃用症候群などの内部障害のリハビリテーションは非常に重要な位置づけにある。本講義では重要器官の機能と構造、

呼吸介助、排痰、吸引などのリハビリテーション各種手技を学んでいただく。また感染症予防を徹底して進めていく。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション，呼吸リハビリテーション総論
2	呼吸器の解剖と運動学	呼吸器の解剖学，運動学
3	呼吸器の生理学	呼吸不全，呼吸機能検査，換気障害の分類
4	呼吸不全の病態	呼吸不全の病態，呼吸器疾患
5	呼吸機能の評価	フィジカルアセスメント・実習
6	呼吸リハの実践①	痰，体位ドレナージ，呼吸介助手技・実習
7	呼吸リハの実践①	咳嗽，標準予防策，喀痰吸引・実習
8	前半まとめと振り返り	呼吸器の解剖学，運動学，生理学，評価法まとめ
9	呼吸ケア②	喀痰吸引・実習
10	呼吸ケア③	喀痰吸引・実習 または呼吸介助手技・実習 予備日
11	呼吸リハの実践③	酸素療法，呼吸リハビリテーションのまとめ
12	循環器の構造と機能	循環器系の機能と構造（解剖学，生理学），血圧
13	心臓の評価①	心電図の基礎① 頻脈
14	心臓の評価②	心電図の基礎② 徐脈
15	まとめと振り返り	呼吸・心臓リハのまとめと振り返り

【成績評価方法】 定期試験の成績により，80点以上をA（優），70点以上80点未満をB（良），60点以上70点未満をC（可）とし，60点未満は不合格とする．なお，総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う．

【授業の方法・形式と教員紹介】 対面講義に加え，実技演習を実施する．また，近年理学療法士に

認められた喀痰吸引手技の習得を目標とする．特にハイリスク患者が対象となるため，

担当時の心構えや留意点についても説明する．講師は理学療法士として当該領域の臨床経験を有する。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学 7 [老人・小児理学] 担当講師 : 南雲 健吾

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : 高齢者理学療法学テキスト (南江堂) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : 高齢化社会における理学療法を考えその基本（老年症候群・特徴）を学び理解する。

【講義概要】

超高齢社会を向かえ、高齢患者を担当する機会が多くなっている。

本講義では、高齢者特有の問題点を理解・把握し、高齢患者の理学療法に必要な知識を深めていく。

回数	項 目	内 容
1	ライフステージと高齢者像	老化とは、高齢者の心理など
2	加齢に伴う身体機能・精神機能の変化	高齢者の身体的特徴、高齢者の精神（認知）的特徴
3	老年症候群	老年症候群の特徴、高齢者がかかりやすい疾患
4	高齢者の生活機能評価	運動機能等、評価の確認
5	高齢者の理学療法を実施するうえでの留意事項	高齢者の理学療法に伴うリスク管理等
6	高齢者ば骨・関節障害と理学療法① 大腿骨頸部骨折	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
7	高齢者ば骨・関節障害と理学療法② 変形性膝関節症	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
8	高齢者の中枢神経障害と理学療法① 脳血管障害（脳卒中）	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
9	高齢者の中枢神経障害と理学療法② パーキンソン病	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
10	高齢者の代謝障害と理学療法 糖尿病	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
11	高齢者の循環障害と理学療法 心疾患	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
12	高齢者の呼吸療法と理学療法 呼吸器疾患 高齢者の悪性腫瘍（がん）と理学療法	疾患の概要、治療の概要、理学療法の概要
13	地域高齢者と理学療法士	リハビリテーションマネジメントの概要、介護保険系サービスの概要
14	高齢者の健康寿命の延伸	高齢社会の現状、地域包括ケアシステムと理学療法士の役割
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、介護予防事業等の実例を基に実際の現場の雰囲気を感じられるような時間も適宜取り入れる。担当教員は病院にて訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わっていた経験があり、高齢者のリハビリテーションの実務経験に基づいた授業を行う。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年： 2 科 目 名： 理学治療学7〔老人・小児理学〕 担当講師： 南雲 健吾

単 位： 2 単位 教育時間： 60 時間

教科書： シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト 第3版(南江堂) 参考書： (出版社)

教育目標 【到達目標】： 理学療法で関わる小児疾患の概要及び疾病特性を理解する。

また、それに対する理学療法の内容を理解することを目標とする。

【講義概要】

正常姿勢反射、運動発達を理解し、実技にて発達を体験する。さらに脳性麻痺児、その他疾患の臨床像、評価、理学療法に
関して実技を取り入れ学習する。

回数	項 目	内 容
1	正常発達	正常姿勢反射と運動発達
2	発達の演習	各姿勢での発達の体験
3	小児の理学療法評価	姿勢反射の検査、脳性麻痺児の評価
4	姿勢反射の演習	姿勢反射の検査実習
5	脳性麻痺の概要	脳性麻痺の概念、タイプ別の臨床像
6	脳性麻痺痙直型	脳性麻痺痙直型の特徴と理学療法
7	痙直型への理学療法演習	痙直型への治療概要および治療技術の実習
8	脳性麻痺アテトーゼ型	脳性麻痺アテトーゼ型の特徴と理学療法
9	アテトーゼ型への理学療法演習	アテトーゼ型への治療概要及び治療技術の実習
10	N I C U、重度心身障害	N I C U、重度心身障害の概要と理学療法
11	ダウン症、 その他の筋ジストロフィー	ダウン症の特徴と理学療法、その他の筋ジストロフィーの特徴
12	低出生体重児、 ダウン症への理学療法演習	低出生体重児、ダウン症への治療技術の実習
13	デュシャンヌ筋ジストロフィー	デュシャンヌ筋ジストロフィーの特徴と理学療法
14	子供の整形外科的疾患	二分脊椎、ペルテス等の特徴と理学療法
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 理学療法士として臨床に携わっている。実技・講義形式で授業を行う。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学8[義肢装具学]

担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : PT・OTビジュアルテキスト 義肢装具学 (羊土社) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GIO:義肢装具の定義,目的,評価,理学療法の概要が理解できる。

SBO:義肢装具の適応となる病態および基本構造,評価方法を理解し,適切な義肢装具の選択,理学療法を説明できる。

【講義概要】 切断に至る疾患・外傷,切断術,切断肢の管理について学び,適応となる義肢,必要な検査・測定,理学療法を学修する。また装具の目的,分類を理解し,各疾患に適応となる装具の特徴,機能,チェックアウトについて学修する。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション 装具学総論	オリエンテーション 装具の定義・目的・分類
2	下肢装具の構成部品とそのチェックアウト	下肢装具について,構成部品,チェックアウト
3	足継手の制御機構	足継手の構造・機能
4	疾患別の装具療法①	脳卒中片麻痺の装具
5	疾患別の装具療法②	対麻痺の装具
6	疾患別の装具療法③	整形外科的装具
7	疾患別の装具療法④	頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具
8	疾患別の装具療法⑤	末梢神経障害の装具
9	疾患別の装具療法⑥	脊柱側弯症の装具
10	疾患別の装具療法⑦	小児疾患の装具
11	疾患別の装具療法⑧	関節リウマチの装具
12	靴型装具	靴の基本構造と各部の補正
13	車椅子・杖	車椅子の種類、チェックアウト 杖の種類、チェックポイント
14	給付制度 歩行分析	義肢装具の給付,制度分,給付制度申請方法 短下肢装具装着時の歩行分析
15	講義のまとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが、講義内容に応じてグループワークを実施し自ら学ぶ取り組みも進めていく。中間試験を実施し知識の確認を行う。担当教員は、病院や施設、訪問リハビリテーションにおける急性期から慢性期までの理学療法経験を授業に生かしていきたい。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学9[ADL]

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 日常生活活動学 (メジカルビュー社) 参考書 : (出版社)

教育目標 【到達目標】 : 日常生活活動の範囲、分類、評価を学び理解する。

【講義概要】 日常生活活動の概念や分類、代表的な評価方法について学ぶ。

日常生活活動の基本となる「基本動作」を理解し、生活行為をより安全・円滑に行うための杖や車いすを含めた補助具の使用
方法や、補助機器の操作方法について学習する。

回数	項 目	内 容
1	日常生活活動の概念	オリエンテーション、日常生活活動（ADL）の定義
2	日常生活活動の概念	国際生活機能分類（ICF）と日常生活活動
3	日常生活活動の概念	基本的日常生活活動（BADL）
4	日常生活活動の概念	手段的日常生活活動（IADL）
5	日常生活活動の概念	日常生活活動と生活の質（QOL）、日常生活に対する支援
6	日常生活活動の評価	日常生活活動の概要（評価の目的）
7	日常生活活動の評価	日常生活活動の概要（評価方法）
8	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（BI）
9	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（FIM）
10	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（IADL）
11	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（基本動作）
12	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（バランス）
13	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（演習）
14	日常生活活動の評価	代表的な評価指標（演習）
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式とで行う。講義方式で学んだ内容を基に実習方式で福祉用具の操作等の実用的な学習・演習を行う。担当教員は回復期病棟や訪問リハビリテーションでの勤務経験があり、在宅リハビリテーションに従事してきた。実務経験を基に、臨床に即した日常生活活動の評価、指導を行えるように授業する。

2026年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 2 科 目 名 : 理学治療学12[アスレチック理学]

担当講師 : 小平 健太郎

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 : トータルアスリートサポート (メジカルビュー社) 参考書 : 入門運動生理学第4版 (杏林書院)
(出版社) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : 運動刺激に対する身体の適応を学び、競技復帰に向けたアスレティック

リハビリテーション（以下、アスリハ）を構成する基礎的内容について理解し、説明できる。

アスリハのプログラム作成のために必要なトレーニングについて実践を含めて説明できる。

【講義概要】

スポーツ競技の特性と代表的な外傷や障害の発生要因、アスレティックリハビリテーションを学ぶとともに予防について学ぶ。

プログラム作成の土台となる運動生理学への理解と基本的トレーニングについても実践を通して学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	アスリハの位置付け	アスリハの位置付けと構成要素
2	コンディショニング実践	様々なトレーニングの実践
3	アスリハの構成要素	アスリハの構成要素
4	コンディショニング実践	様々なトレーニングの実践
5	足関節の外傷・障害	足関節の外傷・障害とアスリハ・コンディショニング概要
6	足関節のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
7	足部の外傷・障害	足部の外傷・障害とアスリハ・コンディショニング概要
8	足部のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
9	膝関節の外傷・障害	前十字靭帯損傷とアスリハ・コンディショニング概要
10	膝関節のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
11	膝関節の外傷・障害	内側側副靭帯損傷とアスリハ・コンディショニング概要
12	膝関節のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
13	大腿部の外傷・障害	ハムストリングス肉離れとアスリハ・コンディショニング概要
14	大腿部のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
15	中間テスト	中間テスト
16	トレーニングフォームレビュー	トレーニングフォームのレビュー・チェック
17	股関節・腰部の外傷・障害	Groin Pain、腰痛とアスリハ・コンディショニング概要
18	股関節・腰部のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践
19	肩関節の外傷・障害	肩関節脱臼とアスリハ・コンディショニング概要
20	肩関節のコンディショニング	アスリハ・トレーニングの実践